



2026年(第85号)
令和8年1月9日

TRGK 東京理化学硝子器械工業協同組合 会報
<https://www.trgk.jp/>

硝子組合ニュース
TRGK 広報委員会

令和8年 理事長年頭所感

新年明けましておめでとうございます。
謹んでお祝いを申し上げます。



旧年中は東京理化学硝子器械工業協同組合の活動に、深いご理解と多大なるご支援ご協力を賜りましたこと心より厚く御礼申し上げますとともに、皆様がお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日本社会に初の女性総理大臣が誕生し、仕事が出来、硬直していた日本経済も少しづつ、変わって行くことを期待する機運が出て参りました。

中国との関係は、不透明ですがデメリットだけでなく、メリットもあることを認識する次第です。それは物作りにも大きく関わる問題です。レアアースの

事、世界の工場としての存在等々です。今年はそれらの事柄が我々にも分かる形になることでしょう。

昨年はN R G K全国大会を東京支部担当で『スリム&コンパクト』をテーマに掲げ、会員数減少の中、魅力は失わず交流と勉強の場を作ってまいりました。この内容での開催は、我々にとつては、今後の指針となったと考えています。また、賛助会員様の紹介を行えました。参加して頂いた皆様、ありがとうございました。

組合員の皆様、事業所スタッフ、また、それぞれのお家族の皆様にとりまして、今年は蹴り脚良く、正月のスタートから良き一年になることを祈念申し上げます。

東京理化学硝子器械工業協同組合
理事長 池田 高樹

工業会だより

N R G Kでは10月末日、技能検定試験に関するアンケートを実施し、全国60事業所のうち32事業所からの回答がありました。

「受験したい」は6件(10%)で、「その理由(任意回答)」は下記のとおりです。①スキルの基準目標を与えたい。②個人のスキルアップには良い機会。③スキルの証明および自己研鑽のため。④従業員のスキルアップ目標のため。⑤理学ガラス器械製作者の全国的な成長のため。⑥加工者が10名(うち1級2名、2級3名)おり、1級以外の方が取得を望んでいる。⑦今は亡き組合員の方が1級技能士表彰状に「私が今までやってきて一番の誇りはこれだ」と伺った事があり、検定試験は職人の道を進む人には自信にも繋がると思つた。

る事業所)の選定が難しい。②出張試験の場合はスタッフに5〜10万円程度の謝礼を渡さないと続かないと思う。③受験者向けに実技、学科の講習を希望する。④実技検定採点基準を見直す。

⑤技能検定試験が今後再開しても何回実施できるのか。⑥全国大会でも議題に上がったが、各支部に試験官が訪問しての実施が望ましい。⑦実技試験内容は、日頃の業務に関係しない製品だとしても、ガラス加工の基本工程が含まれる試験内容にすべき。⑧費用に関して安価に越した事はないが、人数の上限、下限を決め、それに合わせて一人あたりの費用を少なく調整して実施するのが良いと思う。⑨支部単位の議論はまだだが、制度が整えば単独の事業所になったとしても実施したい。⑩会社でのスキル認定としては利用できると思う(スキルを持つていれば手当を付けるなど)。⑪九州地区では旭製作所での実施を考えている。⑫検定試験の実技内容はどの様な製品を対象とするのか。⑬国家検定の際、1級はソックスレー抽出器・冷却器またはボトル、2級は玉入冷却器でした。⑭過去に複数回の実技、学科双方の試験

会場として使用されております。⑮受験者が少なくなっているの、10名程度集まれば実施するなどではどうか。⑯技能検定の内容を勉強会の題材にして欲しい。

アンケートへのご回答ありがとうございました。また、皆様からのご意見をまとめて頂きました事務局の村上氏に感謝いたします。

次期全国理事会は、3月7日(土)、すみだ産業会館にて開催されますが、Zoomでのリモート参加も受け付ける予定です。

TRGK新年会

TRGK・青硝会合同新年会が1月23日(金)に開催されます。

一年の始まりを皆様で迎え、抱負を語り合い、更なる飛躍の糧としていただくため、「第一ホテル両国」に会場をご用意いたしました。ご多忙の事と思われませんが、奮ってご参加下さいます様よろしくお願い致します。



会場は5階「清澄Ⅱ」
受付は17時15分～

電気炉トラブルから見た機械メンテナンスの大切さ

『当たり前前に動く』を守るために

現場を支える電気炉

ガラス加工の現場では、アニール工程は最後の仕上げを行う大事な工程です。そして、それを安定した温度で支えてくれる電気炉は、現場にとつてとても頼れる存在です。

普段はその働きを意識することは少ないものの、昨年、その電気炉のトラブルが続いたことで、設備を「いつも通り」に動かすことの難しさと、メンテナンスの重要性をあらためて感じる出来事がありました。

続いた設備トラブル

とある事業所のことです。最初に起きたのは、炉内の空気を循環させるファンモーターの焼き付きでした。交換を行い、これで落ち着くだろうと思っていたが、ほどなくして同じ症状が再発しました。接触不良の疑いが強まり、二度目のモーターに加えて基盤の交換も行いました。

が現れ、原因を探す日々が続きました。

見えてきた老朽化

こうした状況から、ヒーターの劣化や断線など、より根本的な部分の不具合が疑われるようになりました。一つ直したと思えば次の問題が出てくる」という状態で、普段の作業だけでは気づけなかった設備の疲労が、一度に表面化したようでした。

アニール工程が進まなければ製品の仕上げができなればかりか、次に行う工程にも影響します。代わりの炉を併用しながら調整を重ね、ようやく使える状態まで戻すには、かなりの時間と労力が必要でした。また、他社の電気炉を使わせていただくなど、周りの方々にもご迷惑を掛けてしまいました。

予防保全の大切さ

今回の一連の出来事は、「壊れてから直す」では間に合わないことを身に染みて教えてくれました。高温で働く設備は、目に見えない部分で少しずつ負荷を受けています。摩耗や熱による劣化、接点の緩み、断線の予兆な

ど、外からでは分からない変化が日々進んでいます。だからこそ、定期的な点検や、必要に応じた部品の予防交換がとても重要になります。

歯医者さんの定期検診に行かず、痛くなつてから駆け込むようなことを、設備に対してしてはいけないのだと反省します。

これからの設備管理

設備が『当たり前前に動く』という安心は、丁寧なメンテナンスの積み重ねによって守られています。安定した稼働が続くことで現場は落ち着いて作業でき、品質を保つことができ、その結果としてお客様からの信頼にもつながります。

今回の経験を教訓として、今後も設備との向き合い方を見直し、確実なメンテナンスを続けていくことの重要性を、改めて共有していきたいと考えています。

11月例会レポート

令和 7 年 11 月 21 日 (金)、錦糸町の「すみだ産業会館」において、説明会および例会が開催されました。

冒頭では、ハリオサイエンス株式会社 (以下、ハリオ) 営業本部理化学営業課長の岸田徳行氏より、「ガラス管

忘年会レポート

12月5日(金)、組合会議室での理事会後、両国駅に隣接する江戸NOREN内にある「根津 鶏はな」にて忘年会が開催されました。

シン・大硝会のメンバー5名も加わり、総勢19名が参加しました。理事長の乾杯挨拶後、東京軍鶏の鶏料理を堪能しながら、活発な情報交換も行われ、互いの親睦がさらに深まりました。



東京軍鶏の専門店「鶏はな」で行われた忘年会の様子

およびブランクについて」と題した説明が行われました。ハリオ製ガラス管のこれまでの寸法公差について、競合他社との規格統一を見据え、現在変更に向けた対応を進めているとの説明がありました。また、ハンド製品に携わる職人の技能向上にも力を入れており、要望の多かったカブ型フラスコや試験瓶をはじめ、これまで廃番となっていたブランク製品についても、復活に向けた動きがあるということで、今後の展開が期待される内容です。

このほか、デジタルカタログを新たに開設し、価格改定を含む最新情報をタイムリーに発信できるようになっ

製品詳細や
価格などの
情報はココ！

Home page

Web catalog



ハリオサイエンス株式会社
〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 9-3
TEL 03-6861-5602 FAX 03-6861-5603

ハリオサイエンス株式会社のホームページ
やウェブカタログへのQRコード

青硝会

青硝会の 10、12 月の活動内容は、10 月にはすみだガラス市に参加、11 月には研修旅行で東北大学を見学、12 月には忘年会を開催しました。

10 月 4、5 日に開催されたすみだガラス市では、初日の午後からはあいにくの雨でしたが、翌日は天候に恵まれ、とても暑い中沢山のお客様に足を運んでいただき大盛況でした。

11 月 7、8 日には研修旅行を行い、宮城県仙台市にある東北大学多元物資研究所を見学しました。

当日は有限会社仙台石英硝子製作所の佐藤さんにエスコートしていただきガラス工場と機械工場を見学しました。



東北大学多元物資研究所前にて

12 月 20 日には押上にある「押上つち屋」で忘年会を行いました。当日は美味しい魚料理とお酒を堪能しました。

第 45 期青硝会の活動も新年会と総会を残すのみとなりましたが、来期も精力的に活動していきたいと思えます。

(佐野)

ガラス市

令和 7 年 10 月 4 日 5 日 (土・日) 錦糸町の長崎橋跡イベント広場に於いて『すみだガラス市』が開催されました。

今回初めてキッチンカーも参加し、たくさんの方で賑わいました。売り上げもかなり良い結果となりました。



シン大硝会

シン大硝会は毎年 10 月に総会を開きますが、全員の日程があわず、昨年は 11 月の開催になりました。

例年ですと温泉に一泊となりますが昨年は都内でちょっと豪華な会食に、上野にある鰻の名店「伊豆栄 本店」にて開催。その場で事業報告と会計報告があり、本年度の事業計画について話し合いました。

以降、理事会と合同の忘年会へ参加して令和 7 年の活動は終了。本年も精力的に活動をして参ります。



例会理事会報告

理事会

令和 7 年 10 月 24 日 (金)

- ・技術振興・教育研修委員会
- ・来年度は講習会開催予定。
- ・財務・業務委員会
- ・酸素販売量は減少傾向。
- ・その他物販は好調。
- ・今年度の業績は前年並みの見込み。

福利厚生・ガラス市実行委員会

- ・10 月 4、5 日ガラス市に参加。
- ・11 月 1 日「潮来カントリークラブ」にてゴルフ親睦会開催。

全国委員会

- ・令和 8 年 3 月 7 日冬季全国委員会開催。
- ・広報委員会

- ・10 月 3 日広報新聞 84 号発行。
- ・シン大硝会

- ・11 月総会開催。
- ・青硝会

- ・11 月仙台へ研修旅行。
- ・その他

- ・第 73 回全国大会収支報告
- ・令和 8 年医理化賀詞交歓会について。

- ・令和 7 年 11 月 21 日 (金)
- ・財務・業務委員会

- ・今年度売上高は好調。SPC ジョイントの売り上げが下支え。

- ・令和 7 年 12 月 20 日忘年会開催。
- ・その他

- ・関係団体新年会について。
- ・技術振興・教育研修委員会、広報委員会、シン大硝会

- ・は前月例会の内容と同様に割愛。

- ・福利厚生・ガラス市実行委員会
- ・1 月 23 日新年会を開催。
- ・全国委員会
- ・令和 8 年第 74 回全国大会は大阪支部担当。
- ・広報委員会
- ・1 月 9 日広報新聞 85 号発行予定。
- ・青硝会
- ・2 月通常総会開催。
- ・技術振興・教育研修委員会、シン大硝会
- ・は前月例会の内容と同様に割愛。

理事会

令和 7 年 12 月 5 日 (金)

- ・財務・業務委員会
- ・酸素販売量が低調。
- ・4 月 1 日棚卸。
- ・4 月 10 日決算委員会。

福利厚生・ガラス市実行委員会

- ・4 月すみだガラス市参加。
- ・3 月 28 日「千代田カントリークラブ」にてゴルフ親睦会開催。
- ・全国委員会
- ・技能検定について。
- ・ハンドブック刷新について。

- ・令和 7 年 12 月 20 日忘年会開催。
- ・その他

- ・関係団体新年会について。
- ・技術振興・教育研修委員会、広報委員会、シン大硝会
- ・は前月例会の内容と同様に割愛。

- ・福利厚生・ガラス市実行委員会
- ・1 月 23 日新年会を開催。
- ・全国委員会
- ・令和 8 年第 74 回全国大会は大阪支部担当。
- ・広報委員会
- ・1 月 9 日広報新聞 85 号発行予定。
- ・青硝会
- ・2 月通常総会開催。
- ・技術振興・教育研修委員会、シン大硝会
- ・は前月例会の内容と同様に割愛。

- ・福利厚生・ガラス市実行委員会
- ・1 月 23 日新年会を開催。
- ・全国委員会
- ・令和 8 年第 74 回全国大会は大阪支部担当。
- ・広報委員会
- ・1 月 9 日広報新聞 85 号発行予定。
- ・青硝会
- ・2 月通常総会開催。
- ・技術振興・教育研修委員会、シン大硝会
- ・は前月例会の内容と同様に割愛。

- ・福利厚生・ガラス市実行委員会
- ・1 月 23 日新年会を開催。
- ・全国委員会
- ・令和 8 年第 74 回全国大会は大阪支部担当。
- ・広報委員会
- ・1 月 9 日広報新聞 85 号発行予定。
- ・青硝会
- ・2 月通常総会開催。
- ・技術振興・教育研修委員会、シン大硝会
- ・は前月例会の内容と同様に割愛。

- ・福利厚生・ガラス市実行委員会
- ・1 月 23 日新年会を開催。
- ・全国委員会
- ・令和 8 年第 74 回全国大会は大阪支部担当。
- ・広報委員会
- ・1 月 9 日広報新聞 85 号発行予定。
- ・青硝会
- ・2 月通常総会開催。
- ・技術振興・教育研修委員会、シン大硝会
- ・は前月例会の内容と同様に割愛。

- ・福利厚生・ガラス市実行委員会
- ・1 月 23 日新年会を開催。
- ・全国委員会
- ・令和 8 年第 74 回全国大会は大阪支部担当。
- ・広報委員会
- ・1 月 9 日広報新聞 85 号発行予定。
- ・青硝会
- ・2 月通常総会開催。
- ・技術振興・教育研修委員会、シン大硝会
- ・は前月例会の内容と同様に割愛。

- ・福利厚生・ガラス市実行委員会
- ・1 月 23 日新年会を開催。
- ・全国委員会
- ・令和 8 年第 74 回全国大会は大阪支部担当。
- ・広報委員会
- ・1 月 9 日広報新聞 85 号発行予定。
- ・青硝会
- ・2 月通常総会開催。
- ・技術振興・教育研修委員会、シン大硝会
- ・は前月例会の内容と同様に割愛。



観光を終えた我々は飛行機でヒューストンの乗り継ぎを挟み、漸く最寄りの空港ローリーダーラム空港へ。タクシーで30分ほどで無事会場のホテルに到着しました。

ですが、その前に私のスーツケースと父親の荷物一つがヒューストンに忘れ去られていました。暫くの間荷物受取所で待機していましたが、明日午後以降の受け取りなら可能との事でホテルへ移動。無事故の日を迎える事が出来、ついにシンポジウムのスタートです。



初日は地元のネオン管加工の Lightship Neon へ行かせて頂きました。一通りネオンの説明を聞きましたが、殆ど理解出来ませんでした。セミナーが始まると、特に自身自身の英語力の低さを実感します。



そこから工場内でネオン管の曲げを体験させて頂きました。ホウケイ酸ガラスとは異なりネオン管はかなり柔らかいです。日本ではネオン管加工をやるには少しハードルが高いので、こういった体験出来るのも海外に行くメリットの一つですね。

その後、途中からの参加となりましたがジュニア

第 52 回ゴルフ親睦会レポート

第 52 回ゴルフ親睦会が 2025 年 11 月 1 日 (土)、潮来カントリークラブで盛大に開催された。秋晴れの好条件のもと、20 名もの参加者が和やかな雰囲気の中で熱戦を繰り広げた。

大接戦のベストグロス賞

激戦を制して優勝を飾ったのは内藤博光氏 (野中理化学器製作所)。安定したショットと堅実なプレーが光った。

ベストグロスは酒井総一郎氏 (旧 酒井理化)、齋藤義徳氏 (鎌田理化学器械製作所)、古川雄次氏 (古川理工) の 3 名が同スコアで並ぶ大接戦となったが、規定による年齢差で古川氏に軍配が上がった。

次回開催地が決定

参加者同士の交流も深まり、笑顔溢れる一日となった第 52 回大会は終わりを告げたが、やる気漲る実行委員会は次回開催を早くも決定。第 53 回ゴルフ親睦会は 2026 年 3 月 28 日 (土) 千代田カントリークラブにて開催されます。皆様のご参加お待ちしております。



メンバーのセミナーに合流。私は理化学ガラスを始めて 5 年以内なので、ジュニアメンバーという位置づけになります。

(橋本陸)

これからの行事

- 1 月 23 日 (金)
組合・青硝会合同新年会
第一ホテル両国
- 2 月 20 日 (金)
理事会 組合会議室
- 3 月 13 日 (金)
例会 すみだ産業会館
- 3 月 28 日 (土)
第 53 回ゴルフ親睦会
千代田カントリークラブ
- 4 月 1 日 (水)
棚卸 組合事務所

訃報

工藤理化製作所 代表取締役 工藤良三様

生前のご功績を偲び、謹んでお悔やみ申し上げます。